

| | | |
|----|-------------|-------------|
| | | 平成 12 年 3 月 |
| 改訂 | 平成 17 年 4 月 | |
| 改訂 | 令和 7 年 1 月 | |

道路標示設置等工事仕様書

青森県警察本部交通規制課

| | | |
|----|-------------|-------------|
| | | 平成 12 年 3 月 |
| 改訂 | 平成 17 年 4 月 | |
| 改訂 | 令和 7 年 1 月 | |

道路標示設置等工事仕様書

青森県警察本部交通規制課

| | | |
|----|-------------|-------------|
| | | 平成 12 年 3 月 |
| 改訂 | 平成 17 年 4 月 | |
| 改訂 | 令和 7 年 1 月 | |

道路標示設置等工事仕様書

青森県警察本部交通規制課

道路標示設置等工事仕様書

1 適用範囲

この仕様書は、青森県公安委員会が設置する道路標示設置工事及び撤去工事等に適用する。

2 構造及び様式

道路標示の構造及び様式は（道路標識、区画線及び道路標示に関する命令「昭和35年総理府、建設省令第3号」、「以下（標識令）という。」）、及び（交通規制基準「令和6年8月23日付、交規第324号」、「以下（規制基準）という。」）並びに（路面標示ハンドブック）によるほか、この仕様書に定めるところによる。

3 一般共通事項

- (1) 受注者は、工事施工に先立ち現場責任者を指定して工事現場に常時配置し、現場の管理及び発注者、その他関係機関との連絡等を行わせること。
- (2) 安全管理
 - ア 受注者又は現場責任者は、常に工事の安全に留意して現場管理を行い、災害の防止に努めなければならない。
 - イ 受注者は工事施工中、交通の安全と円滑を図るため、カラーコーン、回転灯及び保安柵等の交通保安施設並びに交通誘導員を必要な場所に設置及び配置すること。

また、工事施工中、交通の円滑を阻害し、交通渋滞等が発生した場合は、直ちに、作業を中断し必要な措置を講じること。
 - ウ 受注者は工事施工中、既建設物、機器その他各種施設又は工事従事者及び第三者の生命身体に損害若しくは危害を与えないよう十分に注意するとともに、損害若しくは危害を与えた場合は、建設工事請負契約書に従い、適正な処置を行うこと。
 - エ 受注者は工事施工中、各種事故が発生した場合、現場責任者に速やかに必要な措置を行わせるとともに、事故の概要、措置状況を発注者に速報すること。
- (3) 工事施工上の疑義又は工事施工上支障が生じた場合における工事方法等の変更は、発注者に照会又は承認を得ること。
- (4) 他機関発注の工事と競合する場合は、発注者の指示に従い、関係請負者と協議のうえ施工すること。
- (5) 受注者は工事の施工に先立ち道路管理者との打ち合せ及び所轄警察署長の道路使用許可を受け、かつ、これらの諸条件に従い工事仕様書に示された機能を完全に発揮させるよう施工すること。
- (6) 受注者は工事に必要な関係官庁に対する申請手続きを受注者の負担において行うこと。
- (7) 受注者は、契約締結後工程表を作成し、速やかに提出すること。
- (8) 工事の経過状況について、毎月書面により発注者に報告すること。また、発注者が特別に報告を求めた場合もこれ応じなければならない。

(9) 各種法令の遵守

- ア 受注者は、当該工事の施工に関し、関係する各種法令を遵守すること。
- イ 受注者は、特に当該工事の施工に関して生じた産業廃棄物等については、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」（昭和45年法律第137号）に基づき適正に処理すること。
- ウ 受注者は、上記のことに違反した場合発生するであろう責務が、発注者に及ばないようにしなければならない。

(10) 本仕様書に疑義のある場合は、発注者に問い合わせ指示を仰ぐこと。

4 設置方法等

(1) 施工材料

- ① 塗料については、別表1「塗料の性能」の品質であること。
- ② ガラスビーズについては、別表2「ガラスビーズの品質」であること。
ただし、高輝度ガラスビーズ、ガラスカレット、その他のガラスビーズを使用する際については、品質等について別途指示するものとする。
- ③ 高輝度道路標示、自転車横断帯の自転車の記号、その他特殊な道路標示を施工する際の塗料の性能等については、別途指示するものとする。
- ④ 施工材料については、路面標示用のJIS規格に適合していることを証明する品質証明書等必要書類等を監督員に提出し承認を受けること。

(2) 施工方法

- ① 塗装の厚さ、幅、色彩等の施工基準は、原則として別表3「施工基準」のとおりとするが、施工方法・条件等により厚さ、幅を変更する際は、別途指示する。
- ② 施工に先立ち設置路面を十分清掃し、塗料接着の阻害となる物質を確実に除去すること。
特に水分については、強制的に除去するなど、確実に路面を乾燥させたうえで施工すること。
- ③ 厚さ、幅は均等であって、直線性・曲線性を適正に標示すること。
- ④ ガラスビーズの散布は、塗膜表面に均等に散布すること。
また、散布に際しては、気温の変化による固着不良や塗膜内への沈降が無いようにするため、散布のタイミングを調整すること。
- ⑤ 作業終了後は、その都度、後片付け及び清掃を行うこと。

(3) 耐久性

路面の損傷等不可抗力による破損（損傷）の場合を除き、施工後、次の耐久性を有すること。

- ① 溶融式
概ね1年とする。
- ② 高輝度式
概ね1年とする。

(4) 補償

施工した道路標示が、前記(1)の規定に適合しないものである場合、または、前記(3)の耐久期間に剥離、滅失若しくは変形、変色を生じた場合は、施工者において補修等の措置を講じること。

(5) その他

監督員から施工に関して、必要書類等の提出を求められたときは、直ちに、それに応じること。

5 消去方法

(1) 方法

- ① 原則的には、道路標示切削機により切削し消去することとし、それ以外の方法で消去する場合は、別途指示するものとする。
- ② 切削した道路標示については、タガネ等を用いて細かく砕き、これを処分すること。

(2) 遵守事項

- ① 路面に損傷を与えないようにすること。
- ② 消去対象外の道路標示（表示）を損傷した場合は、速やかに復旧すること。
- ③ 火災防止及び粉塵飛散防止に努めること。

6 完成検査

- (1) 工事が完成したときは、5日以内に工事完成届等関係書類を提出すること。
- (2) 完成検査は、発注者の検査員が行い、受注者は必ず立ち会うこと。なお、下請け業者が検査に同行するのは差し支えない。
- (3) 検査に必要な測定機器等は受注者において準備し、検査に必要な経費は受注者の負担とする。
- (4) 工事検査において指摘事項がある場合は、検査終了後、速やかに措置のうえ、直ちに書面によりその内容を報告し、再検査を受けるものとする。

7 その他

この仕様書に記載されていない事項又は疑義のあるときは、監督員と打合わせのうえ決定すること。

附則

- 1 この仕様書は、平成17年4月1日から適用する。
- 2 この仕様書は、令和7年1月24日から適用する。

別表 1 塗料の性能（J I S K 5 6 6 5－2 0 1 8）

| 種 別 | | 3 種(※) の 品 質 |
|------------------------|---------------------|---------------------|
| 項 目 | | |
| 密度（2 3℃） | g／cm ³ | 2．3以下 |
| 軟化点 | ℃ | 8 0以上 |
| 塗膜の外観 | | 異常がない。 |
| タイヤ付着性 | | タイヤに付着しない。 |
| 拡散反射率（視感反射率） （白に限る） | % | 7 5以上 |
| 黄色度（白に限る） | | 0～0．1 0 |
| 耐摩耗性（1 0 0回転について） | mg | 2 0 0以下 |
| 圧縮強さ（2 3° C） | k N／cm ² | 0．8 0 2以上 |
| 耐アルカリ性 | | 異常がない。 |
| ガラスビーズの含有量 | % | 1号 1 5～1 8 |
| | | 2号 2 0～2 3 |
| | | 3号 2 5以上 |
| 屋外暴露耐候性 | | 割れ、はがれ及び色の変化の程度が大きい |
| 塗料中の鉛の定量（黄色に限る） | % | 0．0 6以下 |
| 塗料中のクロムの定量（黄色に限る） | % | 0．0 3以下 |

※ 「3種」とは塗料中にガラスビーズを含み、熔融して施工する粉体状塗料のことを指し、ガラスビーズについては塗料中に含まれているほか、施工時に塗面に散布する。

※ 試験方法については、J I S規格によるものとする。

別表2 ガラスビーズの品質 (J I S R 3 3 0 1 - 2 0 1 4)

| 種別 項目 | 1号 | 2号 | 3号 |
|----------|--|---|--|
| 比重 | 2.4～2.6 | | |
| 粒度 | 標準網ふるい 850 μmに残留するもの 0% ⁽¹⁾ 850 μmを通過し、600 μmに残留するもの 5～30% 600 μmを通過し、300 μmに残留するもの 30～80% 300 μmを通過し、106 μmに残留するもの 10～40% 106 μmを通過するもの 0～5% | 標準網ふるい 600 μmに残留するもの 0% ⁽¹⁾ 600 μmを通過し、300 μmに残留するもの 40～90% 150 μmを通過するもの 0～5% | 標準網ふるい 212 μmに残留するもの 0% ⁽¹⁾ 90 μmに残留するもの 0～4% |
| 外観、形状 | 球形の粒子であって、だ円、鋭角、不透明、異物及び粒子間の融着などの欠点を有するものの混入率が20% ⁽²⁾ 以下であること。 | | |
| 屈折率 | 1.50～1.64 | | |
| 耐水性 | 0.01 mol/L塩酸の消費量が10 ml以下であり、ガラスビーズの表面にくもりのないこと。 | | 0.01 mol/L塩酸の消費量が15 ml以下であり、ガラスビーズの表面にくもりのないこと |
| 鉛含有量 | 200 mg/kg | | |
| ひ素含有量 | 200 mg/kg | | |

注 (1) 質量%を表す。 (2) 個数%を表す。

(3) J I S Z 8 8 0 1 の内枠寸法 2 0 0 mm 又は 1 5 0 mm 深さ 4 5 mm 又は 6 0 mm の標準網ふるいで
上記表に規定した目の開きをもつもの。

※ ガラスビーズの状態は正常の粒子の集合であって、軽い衝撃を与えても、崩れないような塊が
あってはならない。

別表 3 施工基準

| 区 分 | 塗 装 の 幅 | 厚 さ | 色 彩 | 備 考 |
|-------------------------|-----------------|----------|---------|-----|
| 横 断 歩 道 | 4 5 cm | 1 . 5 mm | 白 色 | |
| 停 止 線 | 3 0 cm ～ 4 5 cm | 1 . 5 mm | 白 色 | |
| 追越しのための 右側部分はみ出し通行禁止 | 1 5 cm ・ 2 0 cm | 1 . 2 mm | 黄 色 | |
| 車 両 通 行 帯 | 1 5 cm ・ 2 0 cm | 1 . 5 mm | 白 色 | |
| 進 路 変 更 禁 止 | 1 5 cm | 1 . 5 mm | 黄 色 | |
| 図 示 標 示 | 1 5 cm ～ 3 0 cm | 1 . 5 mm | 白色または黄色 | |

- ※ 塗装の幅に幅がある標示の具体的数値については、その都度指示するものとする。
- ※ 上記以外の数値で施工する場合については、別途指示するものとする。